

上郷開発 まちづくり勉強会

2016. 4.21 (11 時)

<議 題>

これからの「まち」について

住民参画へのまちづくり時代とは？ (エリア、エネルギーマネジメント)

○栄区上郷地域の特色を生かしたエリアマネジメントの目標とは？

- 1、ドイツと日本の類似状況
- 2、社会の原点への回帰を実現する「多世代の家」

○次回予定

5月19日(木) 11時、

以 上

まちづくり勉強会 事務局

エリアマネジメント研究会

“エリアマネジメントの目標と、参考事例（ドイツの事例）”

1. ドイツと日本の類似状況

2. 『多世代の家』の政策

1) 集合住宅としての『多世代の家』

- ・現在60歳以上の10人に一人が“独身かつ子どもがいない”
- ・20年後にはこの割合が4人に一人、30年後には3人に一人に増加するとの予測

2) コミュニティセンターとしての『多世代の家』

- ・若年層から高齢者までの住民が自主的に交流し、少子高齢化・核家族問題を解決。
- ・各施設は、年間再考4万ユーロ（約500万円）の助成金を受け取る
- ・低料金で食事が取れるカフェテリアや食堂の常設が『多世代の家』の設置条件
- ・参加型プログラムと生活支援
- ・企業との協力関係

3) 社会の原点への回帰につながる多世代の家

- ・ゲマインシャフトとゲゼルシャフト
- ・個人主義・利益優先主義社会の弊害や、少子高齢社会の諸問題解決のために動く

3. “フェライン”の伝統

別添参照

